

Focus on the Roads
of the Ina Valley

伊那谷を見つめるーまなざしの旅／写真の夢2026

伊那谷の道 写真大募集

10.4 応募締切 sun

【応募・搬入先】
アンフォルメル中川村美術館

応募作品の
展示・公開

展示期間：11月12日(木)～11月30日(月) ※火、水曜日は休館
展示会場：アンフォルメル中川村美術館本館展示室

伊那谷(上下伊那地域)のさまざまな道(路／径)を撮影した写真を募集します。数十万の年のかたから形成されてきたこの伊那谷で、人と自然が交わり、記憶が紡がれてきました。人々が移動し、交流して生まれてきた道は人々の生きてきた証(あかし)です。歴史が重なる古くからの道、人々の記憶に残る道、希望を託した新しい道、動物が通う森の道など。身近にある路地や、誰も通らなくなっ

てしまった道、幻のような道もあります。道はこれからも変容しながら続いて行きます。子供から高齢者まで、今日誰もが手軽に親しめるようになった写真をととして、この谷の自然や日常、時代や社会にアプローチし、その魅力に気づき、発信するために、広く道の写真を募集して展覧会を開催します。さまざまな道に目を向け、撮影者の視点や思いが込められた写真の応募をお待ちしています。

愛称“あんびい”

主催：アンフォルメル中川村美術館 後援：中川村教育委員会 助成：長野県地域発元気づくり支援金活用事業

伊那谷を見つめるーまなざしの旅／写真の夢2026

伊那谷の道写真大募集

作品募集要項

Focus on the Roads of the Ina Valley

【応募区分(資格)】

- ◆ジュニアの部(長野県上・下伊那郡市内の中学校通学者、長野県内の高校通学者) ※中学は両小野中学校を含む
- ◆一般の部(国内在住のアマチュアの方)

【撮影時期/点数等】

- ◆応募締切日の2年以内に応募者自身が撮影した未発表の作品で、お一人2点まで。
- ◆合成写真、組み写真、生成AIを使用して作成した写真は応募できません。

【作品サイズ等】

- ◆A4サイズ(21.0cm×29.7cm程度)の印画紙プリント。
カラー、モノクロを問いません。額装はしないでください。
- ◆写真に人物が写っている場合、必ず本人の承諾を得てください。
- ◆撮影や応募に要する費用はすべて応募者をご負担ください。

【応募方法】

- ◆応募票と作品とを当館へ直接搬入または郵送してください。
- ◆入選、入賞作品を展示する際には作品をスチレンボードに貼りますので、応募票は裏面に貼り付けしないでください。

【応募先/お問い合わせ】

アンフォルメル中川村美術館(火、水曜日は休館)
〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草2124
TEL:0265-88-2680 E-mail:museuminf@cek.ne.jp

【応募締切】

10月4日(日) アンフォルメル中川村美術館まで必着

【作品審査】

写心家・西村彩子氏/SELF:PSY'S

【審査結果発表】

審査会(10月予定)により入選、入賞作品を決定し、通知します。

【各賞】

- ◆ジュニアの部/優秀賞1作品(図書カード5千円) 佳作賞2作品(図書カード3千円)
- ◆一般の部/大賞1作品(賞金3万円) 準大賞1作品(賞金1万円)

【展示期間/会場】

11月12日(木)~11月30日(月) ※火、水曜日は休館
アンフォルメル中川村美術館本館展示室



Googleマップ

【作品の返却】

落選作品、展示終了後の作品の返却を希望される場合は、応募票へ記入してください。
郵送等の費用は着払いとなります。



審査員

写心家 西村彩子氏
北海道札幌市出身/雑誌を中心にタレントやミュージシャンのポートレートやライブ、映画スチールなど幅広く撮影
98年 写真家・木村直軌氏に師事
03年 個人事務所SELF:PSY'S(セルフサイズ)設立、東京で活動
23年 大鹿村スタジオ開設、現在は大鹿村と湘南の二拠点生活中
23年 秋、渋谷にて「忌野清志郎写真展」を有賀幹夫氏と合同開催
写真集に二宮和也、藤本美貴、花より男子、GLAY、高橋一生、他

以下の応募票を切り取って写真と一緒にご提出ください(2点目はコピーしてください)

応募票

タイトル/	撮影地/	撮影年月日/
作品コメント (30字以内)		
お名前(フリガナ)/	お電話番号/	年齢・学校・学年/
ご住所/ ※中高生の場合は 保護者連絡先を記入	作品の返却/ ☐ 希望する ☐ 希望しない	